

補助循環用ポンプカテーテルに関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター循環器内科・心臓血管外科では、「補助循環用ポンプカテーテルに関するレジストリ事業」に参加することになりました。

この研究の目的は、補助循環用カテーテルを使用した患者さんの治療結果を調べて、この装置がどのような影響を及ぼすかを明らかにすることです。

この研究のため、2020年12月7日より2020年12月末までに治療した方の診療録の調査を行います。対象となるのは補助循環用ポンプカテーテルで治療を行った16歳以上の方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（血圧、併用薬剤、採血データ、機器の稼働状況など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは本研究の代表であります補助人工心臓治療関連学会協議会に電子的配信で送付され厳重に管理されます。本研究における他の参加施設情報については（<https://j-pvad.jp>）をご覧ください。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は担当医または下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2020年12月

研究責任者

東京医療センター 循環器内科

坂本 宗久

連絡先 03-3411-0111(代表)